



～ 学校便り～

# なつめ 7月号

〈編集・発行〉  
鹿児島市立喜入小学校  
〈発行日〉  
令和2年7月30日



ブルーサルビア  
(校長室前花壇)

## 創造的に、地道に、そして命を大切に

校長 内村 英人

夏休みが始まります。1学期間の教育活動に対する保護者や地域の皆様の御理解と御協力に心から感謝を申し上げます。

子どもたちには、学校の規律から離れ、普段よりは多い自由な時間の開放感を味わいつつ、学校での学びや家庭でのしつけを生かした生活をつくってもらいたいと考えます。

### ～夏休みだからこそその創造的な学びを～

かつて、こんな自由研究をした子どもがいました。タイトルは「夏探し」

あらゆるところで夏を発見。自然界だけでなく、さまざまな商店に、道に、食事に、服装に、公共施設にも夏が！しかし、8月なのに、もう秋が訪れているお店がある！！??

いったいいつからいつまでが夏なのか？

長期の休みを使って、ぜひユニークな学びに挑戦してほしいです。

### ～夏休みであっても地道に～

夏休みは、家庭学習の習慣を身に付けるよい機会です。こつこつと計画的に取り組むことが粘り強さを育て、努力を怠らない姿勢をつくることにつながります。2学期を不安なく迎えることができるように、御家族の声かけや見届けをお願いします。

### ～安全に健康な日々を～

子どもたちに事故がなく元気に過ごしてもらうことが一番の願いです。毎年、水の事故や交通事故で尊い命を落とす子どもたちがいます。そのような悲劇が起きないことを切に願います。また、”Withコロナ”の夏です。感染しないために気を付けるべきことを御家庭で確かめ合ってください。楽しい夏を過ごし、9月には全員が元気に学校に戻ってきますように。

### 【本年度の一事徹底事項】「元気なあいさつ」

「元気な声」は5割、「立ち止まっておじぎ」は4割、「自分から進んで」は6割の子どもたちができているように感じます。日によっては、7割と感じる日もありますが…。

子ども一人一人のあいさつの姿には、その子の社会性の育ち具合が現れているように思います。社会生活を成立させることと個性を発揮することとをバランスよく行うことについての理解の程度によって、あいさつの仕方は変わるでしょう。あるいは「しさえすればいい」のか、「よりよく行おう」とするのか、といった物事に取り組む際の姿勢が、あいさつの仕方にも現れると思うのです。したがって、あいさつの仕方の変容には、個人差があります。

夏休み明け、あいさつの3項目について、6割超え(あくまでも私の主観ですが)を再度掲げます。御家庭でも、引き続き声かけをお願いします。

### 学校閉庁(8月13・14・15日)への御理解を

学校における働き方改革の取組として、昨年度から夏季休業中の学校閉庁を実施しております。「学校閉庁により、計画的な休暇取得等を促進し、学校職員の健康の保持・増進、心身のリフレッシュを図る」というのが目的です。学校閉庁日となる3日間については、児童・生徒の登校及び部活動並びに事務室業務等は行いません。これに伴い、学校施設等の開放も原則として停止します。保護者・地域の皆様におかれましては、学校閉庁の目的等を御理解ください。

抵抗力を高めましょう (十分な睡眠 適度な運動 バランスのとれた食事)